



新東名高速道路建設に伴う発掘成果

にしとみおか おこうぼた

西富岡・向畑遺跡

主催 (公財)かながわ考古学財団

共催 伊勢原市教育委員会

古代の埋没谷の発掘と出土遺物

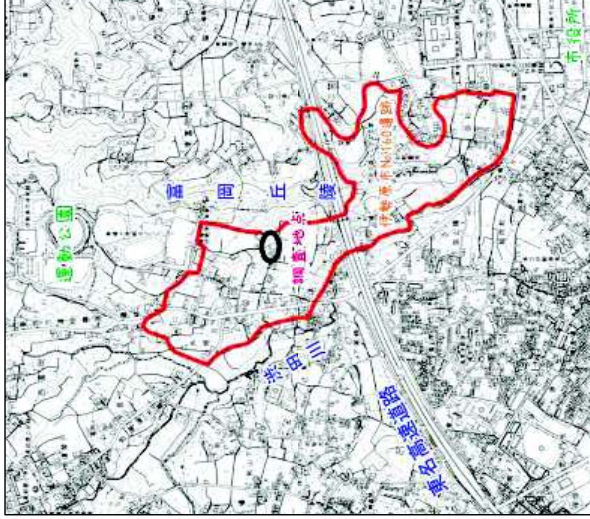
西富岡・向畑遺跡の発掘調査

伊勢原市西富岡に所在する西富岡・向畑遺跡は、中日本高速道路株式会社計画する新東名高速道路建設に伴う事前調査として、2007年4月から発掘調査を実施しています。

西富岡・向畑遺跡では、これまでの調査によって、中世の建物跡、古墳時代末から平安時代にかけての集落跡、縄文時代中期から後期にかけての台地上の集落跡、谷部からはクルマミヤト手の実などの堅果類が多数出土した水場遺構などが発見されており、たくさんのお宝が出土しています。今回は、古代の埋没谷から出土した遺物を中心にこれまでの発掘調査の成果の一部を紹介します。



16区 古代の埋没谷調査状況



遺跡の位置

これまでの主な発見遺構と出土遺物

—発見遺構—

- 中・近世: 竪穴建物、掘立柱建物、地下式坑、地下室、溝、井戸、土坑 など
- 古墳時代: 古代: 竪穴建物、竪穴状遺構、掘立柱建物、円形土坑、土坑 など
- 縄文時代: 敷石住居、集石、配石墓、埋壘、帯状粘土列、水場遺構 など

—出土遺物—

- 中・近世: 陶磁器・かわらけ・硯・栄銭・炭化柿 など
- 古墳時代: 古代: 土師器、須恵器、灰釉陶器、瓦、銅製品 (騎帯金具...・巡方・丸軸)、金銅製品 (飾り金具)、鉄製品 (刀子)、石製品 (砥石)、温石、土製品 (土錘) など
- 縄文時代: 縄文土器、打製石斧、磨製石斧、玉類、石棒、石皿、石鏃、堅果類など
- 旧石器時代: 槍先形尖頭器 (安山岩)、刺片 (黒曜石) など



16区 出土墨書土器



左上の写真は、古代の埋没谷から出土した墨書土器です。9世紀後半から10世紀初頭頃の遺物です。上の写真は、青丸で囲った墨書土器を赤外線ライトで撮影したものです。墨書された文字が見えやすくなり、肉眼では分かり難かったですが、「奥」、3という字に読めます。1と2は「奥」、3は「木」、4と5は「中」と読めます。赤丸で囲った墨書土器の外面には、文様が描かれています。



16区 柄付刀子

上の写真は古代の埋没谷から出土した遺物です。左の写真は刀子で、柄の部分がほぼ完全な形で見つかりました。全長2.5cmで、刃部は8cmを測ります。柄と刃部が一緒に見つかるのは大変珍しいです。右上の写真は木製の環で、内外面に漆を塗っているように見えます。全長18cmを測ります。



16区 木製環



新東名高速道路建設に伴う発掘成果
西富岡・向畑遺跡(伊勢原市No.160)
2016年12月3日
公益財団法人かながわ考古学財団
〒232-0033 横浜市内南区中村町 3-101-1
TEL 045-252-8689 <http://kaf.or.jp/>
「地域の特色ある埋蔵文化財活用事業」



赤丸は、今回の調査で発見された遺構・遺物のおおよその時期を示しています。

西富岡・向畑遺跡北側の古墳時代後期～平安時代の集落



谷を利用した大規模な溝

木製櫛(トチノキ)

木製皿(トチノキ)

曲げ物(アスナロ属)

木筒(アスナロ属)

砧(きめた)(ヒノキ)

勾玉

耳環

木製品
集中範囲

埋設谷

掘立柱建物跡

竪穴建物跡

埋設谷東側の集落 調査状況

- 竪穴建物
- 掘立柱建物
- 方眼 = 10m